

「2020年度 省エネ大賞」募集

2020年度 省エネ大賞の募集を開始します

募集期間：4月8日（水）～ 6月23日（火）

主催：一般財団法人 省エネルギーセンター 後援：経済産業省（予定）



一般財団法人省エネルギーセンター（会長：藤 洋作）では、優れた省エネルギー活動事例や技術開発による先進型省エネルギー製品等を表彰する「省エネ大賞」の募集を開始します。

「省エネ大賞」は、省エネルギー意識、活動および取り組みの浸透、省エネルギー製品等の普及促進に寄与することを目的とし、2011年より一般財団法人省エネルギーセンターが経済産業省の後援を受け、主催しています。

応募いただいた案件は厳正な審査を経て選考され、受賞者については、東京ビッグサイトにて当センターが主催する「ENEX2021－第45回地球環境とエネルギーの調和展」（2021年1月27日予定）で表彰いたします。

応募部門

1) 省エネ事例部門

企業や組織全体あるいは事業場や事務所等における省エネ取り組みや、現場における小集団活動(*)あるいは他者との連携等による省エネ活動により成果をあげた案件等を対象とします。具体的な省エネ活動としては、大規模な設備投資を伴う取り組みだけではなく、既設設備の改善や改造、エネルギー管理や運用の強化、改善等を含み、またピーク電力の制御や負荷平準化など節電の取り組みも含まれます。

【表彰分野】

イ. CGO・企業等分野、ロ. 産業分野、ハ. 業務分野、ニ. 輸送分野、ホ. 支援・サービス分野、ヘ. 共同実施分野、ト. 節電分野、チ. 小集団活動分野

*小集団活動分野とは

社内あるいは事業所内の担当部門、中小企業等で行われる省エネ取り組みで、創意工夫が見られ、他の模範となる活動を対象とする。

小集団活動分野では、応募時に2次審査方法（発表審査かビデオ審査）を選択することができます。

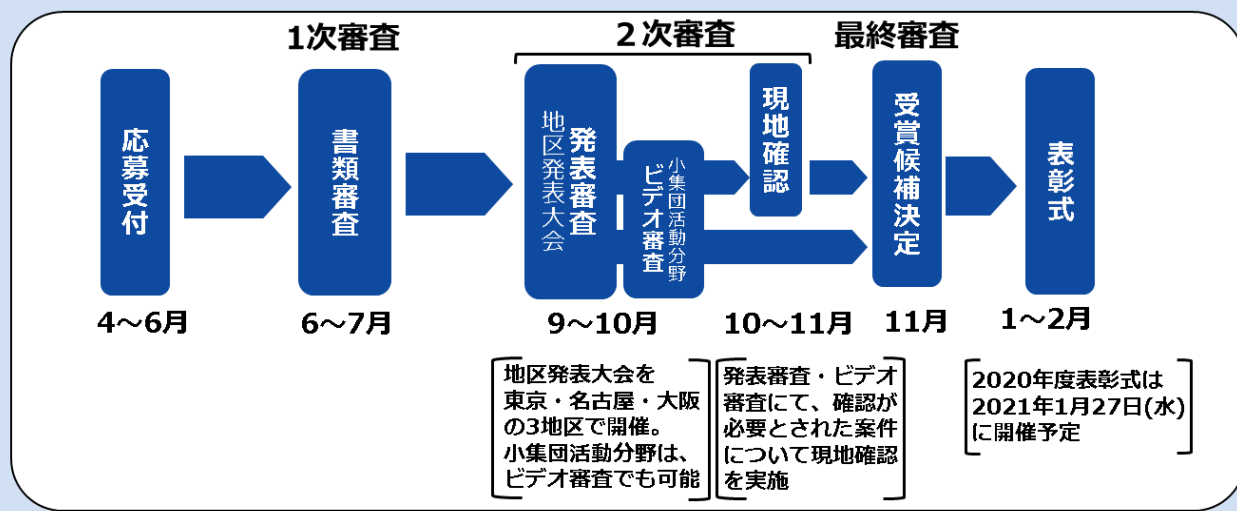
2) 製品・ビジネスモデル部門

原則、2020年11月1日までに国内で購入可能な優れた省エネルギー性を有する製品（業務用・家庭用製品のほか、運輸分野の製品や住宅・ビル等建築分野の製品、及び各製品の要素製品や部品を含みます）、または省エネルギー波及効果の高いビジネスモデルを対象とします。なお、省エネルギー性及び省エネルギー波及効果には節電効果も含みます。

【表彰分野】

イ. 業務分野、ロ. 家庭分野、ハ. 輸送分野、ニ. 建築分野、ホ. ビジネスモデル分野、ヘ. 節電分野

応募から表彰までの流れ



応募受付	受付期間	4月8日(水) ~ 6月23日(火)	
1次審査	書類審査	6 ~ 7月	
2次審査	省エネ事例部門 小集団活動分野で応募の場合は、応募時に発表審査かビデオ審査のどちらかを選択		
	発表審査	西日本：9月9日(水) 中日本：9月10日(木) 東日本：9月16日(水)、17日(木)	大阪 / ドーンセンター 名古屋 / 名古屋市公会堂 東京 / 月島社会教育会館
	ビデオ審査	省エネ事例部門 小集団活動分野でビデオ審査を選択した応募者 9月中旬	
	現地確認	発表審査・ビデオ審査にて、確認が必要とされた一部の案件について現地確認を実施 10月中旬 ~ 11月中旬	
表彰式	2021年1月27日(水)		

表彰種別と表彰数(予定)

部門	経済産業大臣賞	資源エネルギー庁 長官賞	中小企業庁 長官賞	省エネルギー センター会長賞	審査委員会 特別賞
省エネ事例	4件以内	6件以内	1件程度	10~15件程度	2件程度
製品・ ビジネスモデル	4件以内	5件以内	1件程度	10~15件程度	2件程度

応募要領等 入手先

応募要領等 各種様式は、一般財団法人省エネルギーセンターのホームページよりダウンロードして下さい。
<https://www.eccj.or.jp/bigaward/start20/index.html>



問い合わせ および 応募申請書類提出先

〒108-0023
 東京都港区芝浦2丁目11番5号 五十嵐ビルディング
 一般財団法人 省エネルギーセンター 省エネ大賞事務局
 Tel : 03-5439-9773 Fax : 03-5439-9777 E-mail : taisho@eccj.or.jp

省エネ大賞の歴史

「省エネ事例部門」は、1975年（昭和50年）に国の事業として始まった「省エネルギー実施優秀事例表彰」に端を発し40年以上の歴史を有します。一方「製品・ビジネスモデル部門」は、事例と同様に国の事業として1990年（平成2年）から「省エネルギー機器・システム表彰」としてスタートし、2009年（平成21年）には事例表彰と合体し新しく「省エネ大賞」として一本化されました。2011年（平成23年）からは、省エネセンター主催事業としての表彰制度（省エネ大賞）となり、本年度（2020年度）で10回目となります。経済産業省の後援をいただいている本表彰制度は、わが国の現場における省エネ活動の活性化や省エネルギー意識の浸透、更には優れた省エネ型製品の開発や普及によるわが国全体としてのエネルギーの有効利用や効率の向上に大きく貢献しております。

年度	1975	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020								
事例回数	1回	16回	17回	18回	19回	20回	21回	22回	23回	24回	25回	26回	27回	28回	29回	30回	31回	32回	33回	34回	35回		36回	37回	38回	39回	40回	41回	42回	43回	44回	45回								
製品回数		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	20回		21回	22回	23回	24回	25回	26回	27回	28回	29回	30回								
省エネ事例	「省エネルギー実施優秀事例表彰」																				「省エネ大賞」に改称 事例と製品等が統合される																			
製品等	「21世紀型省エネルギー機器・システム表彰」 (省エネルギーバンガード21)										「21世紀型省エネルギー機器・システム表彰」 (省エネ大賞)										「省エネ大賞」 省エネ事例部門/ 製品・ビジネスモデル部門																			
主催者	経済産業省の補助事業等																				経済産業省の委託事業										省エネルギーセンターの自主事業									



上) 発表審査を、東京・名古屋・大阪で実施
(写真は昨年9月10日に開催した中日本地区発表大会)

下) 毎年 ENEX「地球環境とエネルギーの調和展」に併せて「省エネ大賞 表彰式」を開催
(写真は今年1月29日に開催した2019年度表彰式)



2019年度(令和元年度)省エネ大賞表彰式

主催 一般財団法人省エネルギーセンター 後援 経済産業省

一般財団法人省エネルギーセンター概要

1. 法人格 : 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第3条
2. 代表者 : 会長 藤 洋作
3. 設立 : 昭和53年(1978年)10月16日
4. 賛助会員 : 約2,200事業所(電力、ガス、鉄鋼、石油、化学、紙パ等)
5. 設立目的 : 産業、民生、運輸部門の省エネルギー対策の中核的推進機関
6. 主な事業
 - 1) 「徹底した省エネ」に向けた活動の支援
 - 無料省エネ・節電診断
 - 省エネ診断に関する成果普及(省エネ診断・技術事例発表会、Webサイト等による成果普及)
 - 省エネルギー相談地域プラットフォームの育成・強化
 - 工場等の省エネ調査・分析 ○省エネ技術評価
 - 2) 省エネ情報の提供
 - 省エネ大賞
 - ENEX 地球環境とエネルギーの調和展
 - WEBによる情報提供
 - 出版物等による情報提供(月刊「省エネルギー」誌、図書・手帳・コンテンツ)
 - 省エネ推進活動グッズ
 - 賛助会員サービス
 - 3) 省エネ人材の育成
 - 人材育成講座(『一般講座』、皆様のご要望に応じたオーダーメイドの『出前講座』)
 - 省エネ専門資格の認定(家庭の省エネエキスパート、ビルの省エネエキスパート、エネルギー診断プロフェッショナル)
 - 4) 省エネ・ソリューションの提供
 - 工場の省エネコンサルティング ○ビル等業務用施設の省エネコンサルティング
 - 省エネ支援ツールの開発・活用
 - 認証取得等支援 ○省エネビジネス展開支援 ○専門事業者等と連携した省エネ支援
 - 5) 省エネ支援を通じた国際貢献
 - 海外諸国への省エネ国際協力(専門家派遣、研修生受け入れ)
 - 国際機関の省エネ活動支援
 - 国際ビジネスの省エネ支援(世界省エネルギー等ビジネス推進協議会(JASE-W)への支援、海外進出企業等の省エネ支援)
 - ISO50001 審査員評価登録
 - 6) 国家試験・研修・講習の実施
 - 「エネルギー管理士」資格 ○「エネルギー管理講習」
7. 所在地
 - 本 部 : 東京都港区芝浦二丁目1番5号 五十嵐ビルディング4階、5階
 - 支 部 : 札幌市、仙台市、名古屋市、富山市、大阪市、広島市、高松市、福岡市

以上

2019年度 受賞者一覧 (52件、71者)

1. 省エネ事例部門 (25件、39者)

(1) 経済産業大臣賞 (4件、8者)

種別	受賞者名	テーマ名
産業分野	株式会社豊田自動織機	自動車塗装乾燥工程における省エネルギーの取り組み
業務分野	株式会社 竹中工務店/ ティ・エス テック 株式会社	徹底した経済性を目指した普及型ZEBオフィスの創出
支援・サービス分野	株式会社トライアルカンパニー/ フクシマガリレイ株式会社	AI技術を活用したPMV制御による快適省エネ店舗の実現
節電分野	株式会社トリドールホールディングス/ 中部電力株式会社/ ニチワ電機株式会社	茹で釜の自動制御による省エネルギーの取り組み

(2) 資源エネルギー庁長官賞 (6件、13者)

種別	受賞者名	テーマ名
産業分野	株式会社デンソー サーマルマネジメントユニット製造部	予兆管理による省エネ取り組み
業務分野	東京都市サービス株式会社	「エネルギー収支フロー」を活用した熱供給プラント効率向上への挑戦
支援・サービス分野	三洋化成工業株式会社/ 株式会社サクラ/ 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター	「熱のリサイクル」を利用した濃縮工程の省エネ革新
共同実施分野	プライムアースEVエナジー株式会社/ 株式会社前川製作所/ 豊田通商株式会社/ 高砂熱学工業株式会社/ パナソニック環境エンジニアリング株式会社	リチウムイオン蓄電池新工場における熱利用の高効率化への取り組み
節電分野	株式会社ラウンドワン/ ダイキン工業株式会社	多店舗型アミューズメント施設での快適性を維持した持続的な省エネ実践
小集団活動分野	日産自動車株式会社 栃木工場	鋳鉄溶解工程における省エネルギーへの挑戦

(3) 中小企業庁長官賞 (1件、1者)

受賞者名	テーマ名
有限会社アドバンク	新しいインク素材と乾燥技術による印刷工場の省エネルギー

(4) 省エネルギーセンター会長賞 (12件、15者)

受賞者名	テーマ名
株式会社アリガプランニング	積雪寒冷地型「ZEB」の実現
JFEスチール株式会社	製鉄所の溶鉄搬送容器における熱損失低減による省エネ活動
シャープ株式会社 三重事業所	液晶ディスプレイ製造工場の徹底した省エネ活動
昭和興業株式会社	省エネ効果がもたらしたテナントビルの魅力アップ
ダイキン工業株式会社	新空調方式の採用とビッグデータ活用による新工場の省エネ取り組み
大和ハウス工業株式会社	自社ビルにおけるZEB化と電力自立への挑戦
TDK株式会社 浅間テクノ工場	多様な工夫・少ない投資での継続的省エネ活動
パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社 津工場	省エネとBCPを融合させたマザー工場主導でのグローバル展開
富士電機機器制御株式会社 吹上事業所	電力予測システム(ZEBLA)活用による省エネ推進
本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所/ ホンダエンジニアリング株式会社	軽自動車用2色インパネの無塗装・薄肉成形技術によるエネルギー削減
三浦工業株式会社	全員参加の「草の根運動」による省エネルギーの推進
ラサール不動産投資顧問株式会社/ JLLモールマネジメント株式会社/ イオンデイライト株式会社	ショッピングセンターにおける無線通信を活用した空調・照明の消費電力量削減

(5) 審査委員会特別賞 (2件、2者)

受賞者名	テーマ名
株式会社ショーワ	省エネ診断システムの有効活用による省エネルギー施策の発掘
千葉商科大学	自然エネルギー100%大学を目指した省エネ取り組み

※省エネルギーセンター会長賞、審査委員会特別賞は応募者の五十音順に記載

2. 製品・ビジネスモデル部門 (27件、32者)

(1) 経済産業大臣賞 (4件、5者)

種別	受賞者名	テーマ名
輸送分野	東芝インフラシステムズ株式会社/ 東京地下鉄株式会社	蓄電・高効率電動機を用いた鉄道駆動システム
建築分野	株式会社オンダ製作所	低圧損型給水給湯用樹脂製管継手「Revos」
ビジネスモデル分野	JFEエンジニアリング株式会社	多拠点一括エネルギーネットワークサービス (JFE-METS)
節電分野	株式会社エネット	AIを活用した省エネサービス Enneteye

(2) 資源エネルギー庁長官賞 (5件、6者)

種別	受賞者名	テーマ名
業務分野	三浦工業株式会社	ヒートポンプを活用した高効率ボイラ給水加温ユニット
家庭分野	株式会社コロナ/ 株式会社長谷工コーポレーション	エアコン付ヒートポンプ床暖房『コロナエコ暖クールエアコン』
輸送分野	三菱重工サーマルシステムズ株式会社	配送用途に適したプラグインハイブリッド輸送用冷凍ユニット
ビジネスモデル分野	栗田工業株式会社	ドロップワイズテクノロジーによる熱伝達率の向上
節電分野	株式会社 GSユアサ	道路照明用LEDランプ「LEGA:LAMP-R」

(3) 中小企業庁長官賞 (1件、1者)

受賞者名	テーマ名
日本熱源システム株式会社	空冷式CO2冷媒冷凍機「スーパーグリーン」

(4) 省エネルギーセンター会長賞 (15件、18者)

受賞者名	テーマ名
株式会社アースクリーン東北	再生エネルギー併用型デシカントメガクール空調機
アイリスオーヤマ株式会社	物流倉庫照明用LEDラックシステム
アエラホーム株式会社	アルミ箔ボードを用いた外張断熱工法
グルンドフォスポンプ株式会社	スマートポンプ導入による工場給水装置の省エネ実現
ダイキン工業株式会社	省エネ住宅対応型ルームエアコン(うるさらX、Aシリーズ、DXシリーズ)
ダイナエア株式会社	高効率加湿専用モイストプロセッサ
株式会社ティエルビイ	蒸気システム総合診断 (CES Survey) による省エネサービス
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社/ 東京ガス株式会社	高効率自動運用システム「ヘリオネットアドバンス」によるエネルギーマネジメントサービス
東芝キャリア株式会社	冷凍機「PROCOOL」
パナソニック株式会社 アプライアンス社/ 株式会社ノーリツ/ 株式会社ガスター	家庭用PEFC型燃料電池「エネファーム」
パナソニック ホームズ株式会社	住宅用全館空調システム「エアロハス」
日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社	凍結洗浄搭載型ルームエアコン「白くまくん」
三浦工業株式会社	省エネ・省水型RO装置 MRO-Cシリーズ
三菱電機株式会社	新しい気流制御を搭載したエアコン「霧ヶ峰 FZシリーズ」
三菱電機照明株式会社	特殊環境用を含む高天井照明器具GTシリーズ

(5) 審査委員会特別賞 (2件、2者)

受賞者名	テーマ名
関電ファシリティーズ株式会社	設備ライフサイクル・エネルギーマネジメントサービスによる業務分野の省エネ普及促進
株式会社四国総合研究所	農業用LED「みどりきくぞう」

※省エネルギーセンター会長賞、審査委員会特別賞は応募者の五十音順に記載

※省エネ大賞に関する情報は、以下のサイトよりご覧いただけます。

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/item.html>

